

# 有明高専だより

第 9 号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

Tel 09445 ③ 1011

印刷・西田印刷所

## 父兄の皆様へ

—父兄懇談会の挨拶より—

学校長

轟

一郎

現在高専専門学校のわゆる高専は、国立・公立・私立を併せて六十三校あり、すでに約一万の卒業生を産業界に送り出し、これらの若者は今日の日本産業界第一線の優秀な技術者として各方面に活躍いたしております。

高専の制度は、戦後日本産業界の急激な発展に伴って発生した技術者の量と質に対する要求に必ずしるため制定されたものであって、高校・大学コースを通じて存在する入学試験・教養課程の問題点を解消し、無理と無駄のない技術者教育を行うものであります。すなわち中学卒業直後の頭脳の柔軟な学生を受け入れて、五か年間実験・実習などを通じ技術的感覚を養いながら工学教育を行うと共に、これと並行して一般基礎教育を行う効果的な一貫教育により、完成された技術者養成を行うものであります。



高専の第一期は昭和三十七年度の創立で、本校はその翌年三十八年度の創立であり、来月二月は第五回の卒業生を社会に送り出す第一回より第四回までの卒業生の

高専の第一期は昭和三十七年度の創立で、本校はその翌年三十八年度の創立であり、来月二月は第五回の卒業生を社会に送り出す第一回より第四回までの卒業生の

一、正門から入って右側に図書館が建設されます。一六〇〇㎡・三階の建物で、電子計算機室三〇〇㎡を三階に増築出来る設計で、明年 月終りには完成いたします。

図書館機能としては最善の考慮が払われており、保健室・視聴覚室・ゼミナール室などもこの中に置かれ一段と充実いたします。

一、寄宿舎若葉棟の改修。若葉棟は居住性がよいため、約一六〇〇万円の経費で現在改修中であり、九月二十五日頃は完成する予定で、完成いたしますと深まる秋と共に一層勉強に熱がはいるものと期待しております。

高専は日本ではもちろん初めての制度で、外国でも注目しているものが出ていますが、一方問題点も少なくありません。

第一の問題点は、中学時代クワスの最上位グループにあった素質のよい学生を受け入れられているにもかかわらず、落後者が多い点であります。

私共も対策に苦慮し、改善に努力しているところですが、家庭・学校一体となって落後者の出ないようにしたいと存じます。

第一の問題点は教育施設・設備の不備であります。電子計算機は近々導入出来ると思いますが、全般的に教官の研究設備、学生の実験・実習設備が量・質共に不足で

あります。これらの点については逐次改善すべく努力を続けております。

第三の問題点は高専卒業生の進学・再教育であります。高専は技術者としての一応の完成教育を行いますが、さらに理論的な方面に深く進みたいものためには、大学編入の制度があります。しかしこれは専業主相当狭い門であり、また卒業後さらに高度の技術研さんを必要とするもののため、目下産技術大学院(仮称)の新設が具体的に検討されており、実現の公算は大きいと考えられます

本年六月中央教育審議会は四年の審議期間を費して「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」と題する答申を出したが、その中で今後日本の高等教育では、高専を工業・商船・電波のみならずその他の分野にも拡張して教育の多様化をはかるべきであるとしています。その意味で高専は多様化教育のモデルであり、先駆的役割を持っています。

ともあれ高専制度は生れて九年(有明高専は創立八年)、一つの転機にきているのであり、今後どのように発展するかは、学生・教職員・父兄に課せられた問題であります。ともどもに協力・努力して進みたいと存じます。

私共教官五十四名、職員八十名は、皆様から御預りした御子弟を

立派な技術者・立派な人間として社会に送り出すため一致協力いたしておりますが、教育は学校だけで成り立つものではなく、特に家庭との協力なくしては十分の効果をあげることは困難であります。どうか学校との連絡を密にしたいとたく様切望いたします。

### 文化講演

七月十日(土) 於体育館

### 青年期の危機と克服

九州大学助教授

安藤 延 男

教官、学生の中に、青年期の心理に関する文化講演の要望が湧きました。今般、機会を得て、九州大学で学生のカウンセリングにあたり、おられる安藤先生を迎えて一時間半にわたりお話をうかがい、続いて会議室で教官と懇談していただいた。

講演の内容については、本頁五頁・八頁に掲載している。

### 八月行事予定

- 8・18 全国高専体育大会
- 20 (於大阪)
- 8・28 西九州三高専演奏会 (於佐世保)
- 8・30 九州高専英語弁論大会 (於本校)

筆まめな一回生の奥園君から書きた。日立製作所に入社、システムエンジニアとして活躍している同君は、佐世保工業に出張中であるが、その乗車によるとそこには一回りせらるる計算機にかけるの十時間はかかるプログラムもあるとのことである。

### 情報化時代にそなえて

(其の二)

木村 剛三

現在の計算機のことを多少でも承知の方なら、それがいかに莫大な計算量であるかは想像に難くないであろう。一体なにを計算すればそんなに時間がかかるのか見当がつかぬものも多かった。ところが機械学会誌の六月号が数値解析特集となっていたので、早速ペラペラとめくってみると次の一節が目についた。「昭和四十五年五月、わが国の造船界でも日本造船協会が二年六箇月の期間付きて船体構造解析用プログラムの開発に乗り出し、(中略)大油油その船の平

り得ることは確かである。このように技術者にとりて従来の解析的手法とともに電算機による数値計算の能力が要請されるのは必然であって、このため大卒はもとより高校に至るまで電子計算機の導入が計画され、カリキュラムに情報処理が組み込まれ、いよいよ必要としているのは当然といえる。このうな時の流れのなかで本校も勿論

校を挙げてこれと取り組む体制を確立した。また工学、応用数学を中心とする情報処理教育の実験校の指定を受け、実験教育課程の作成に努力するとともにその試案の線に沿って努力している。この教育、応用数学の基礎の上に各専門学科でそれぞれの事情に応じた情報処理教育を推進している。

また卒業研究でも数値計算を用いるテーマも二あり、このテーマの学生は、おりコンピュータ一を勉強する者である。電気工学科、工業化学科、建築学科においても、詳しい内容は紙面の都合で省くが、いづれも意欲的に情報処理教育が推進されている。また、卒業年度である建築学科には今年、電算機に経験豊かな先生方が着任され、その厚きサポートしている。このようなカリキュラム面での充実と並行して完

機理工学科は機械工学情報処理教育研究会に参加するとともに、四年後期から五年の前期にかけて週二時間「情報処理」の時間を設け、フォートランの基礎とその応用について講義を実施している。四年の応用数学でも後期に週一時間を電算機を前提とした数値計算法に当てている。しかしなんと云々でも講義だけでは量の上の水練に等しいので、市内の会社にお願いで、会社の仕事が終わった後でなんとか学習できるように計画中で

生方の電算機利用人口も増え、現在九州大学の大型機センターに研究課題を既に登録したものの五件、電算機を利用されている方も含めると十名近くになる。また、各種の講習会にも多数の先生方が出席されてそれぞれ、知識と認識を深めるのに努めている。

このように情報処理教育が盛の上で、きたなかで、どうしても必要なのが電子計算機そのものである。このため学校としても、近々善工の運びとなる図書館には、電子計算機を設置する場面にすぐ増築できるような考慮を払うなど要入ればは万全の態勢をとっている。既に全国の高専に昨年年度、今年年度五校、設置が認められたときいている。本校にも早く、電子計算機が設置されることを切望して止まない。

5月15日 大卒田を阿蘇野が出発。先頭車にME、最後尾車にCAこれは全座席占有。その時の号車はCA一般客乗車。専用車組は車中で若者の元気のよさを発揮しとくにAの諸君のイキのよさに感心した。そして23時にはバタリとやめ熟睡にはいる。この切替えのあきらかに敬服。

17日 宿を出て壮大な奈川渡々ムを越して高野へ。(2世) 上高野はすばらしい。冷たい水とたたかるところが心地よく、すこし肌寒いくらいである。それに梓川の水の清い(きれい)というより、言った方が適しているように思ふ(な)と言えは以前に写真を見たことのあるがそれ以上のすばらしさであった。宿は浅間温泉。(3世) 温泉街といふのはどこでもだが、ここは学生が泊るべき環境ではな

この旅行期間中に市内全タクシ1のスト(松本)、国鉄、私鉄のストなどがあつたが、すべてわれわれに有利に作用し、雨も降つたが団体行動の妨げとはならず、まったく「いい天」だった。この旅行期間中に市内全タクシ1のスト(松本)、国鉄、私鉄のストなどがあつたが、すべてわれわれに有利に作用し、雨も降つたが団体行動の妨げとはならず、まったく「いい天」だった。

### 修学旅行 スクラップ

清水正夫

18日 松本から東京へ。夜多くの先輩諸君の来訪があり種々歓談をた。 (X君) 東京は博多はよく似ただけじゃないか。ほとんどの諸君が指示を守ってくれたことを誇りたい。これは平素の心掛けから来るものと思う。

19日 朝から雨が降り続く。各自の計画に基づく見学日。集団行動だ。 (X君) 東京は博多はよく似ただけじゃないか。ほとんどの諸君が指示を守ってくれたことを誇りたい。これは平素の心掛けから来るものと思う。

20日 あやしげな天気だ。科別に下高野見学後、新幹線が京東へ。ここにも数人の先輩諸君来訪。

21日 クラスをませてABCコースに分けての見学。電車乗台特等で新大阪から九州へ。

22日 大卒田君、校長、両主事先生ほかのお出迎えをうけ駅頭で解散。

### 建築

去る梅雨明けの夕、福岡での回覧会に西鉄で出かけた。二十年余りを京の近郊に住まい昨年こちらにきたので、辺りの風物も久々に珍らしい。乗車の際、つもは柳川の町並み、水沼の君の家、生池久留米の西郊、基山山やブッシュ漕ぎにあいた香振の進撃が西に望める側に坐るようになっているのであるが、その日はさすがに厳しい西日を敬避して、東の窓ぎわを占めた。

夢の跡である。筑紫次郎を渡るあたり、耳納の山波がゆくり庭回して、逆V字型に開けた平野に大きなバスパークティウを現わしている。その消点近くまでとび東から北にかけてかすむ山脈を、那の準めきしてひた走りに走ったこと、もうやっとないうただが、久留米―福岡間の駅伝競争、何故に走るのか今でもまだ訳の判らぬ死に向かい合せのようなしんと五高を抜き去ったあのゴールでの握手、その凛々等々、ぐつと鮮烈な思い出がこみ上げてくる。

か、香振山脈は波の山々に見たててもよかろう。たちまち元へとどって耳納の山は生駒の峯々々と、さかんに面白がる。

してはいたに違いない。その何物かが里層をりして再び宇佐に祀られたものであろう。さすれば宇佐の祭の盛大さと西東に及ぶその大勢力が理解される。従って、古代の北九州人の理念や大和朝の源流の諸は宇佐の宮の祭祀をさかのぼって行くことにより解き明されるかも知れない。また、当時太宰府から大和への交通は豊原の波浪や関門海峡の急潮をおかすよりも陸路で用川から行橋にぬけ、宇佐に船泊をしたらえ瀬戸の海に乗り出したのではなからうか。

八女の方が可能であろうから、星野と吉野はこの問題について一対比しない方がよかろう。つまり、上代人として筑紫に大和は相似形として在った。そして、かつて神武東征に似たかたちで筑紫は侵襲を受けた。その國が耶麻呂女王國であったのか、それとも侵襲者か女王國になったのであらうか。

故なら、彼等がかつて蹂躪した土地は筑紫に比べて何かと貧弱で、勝るは武力だけ。彼等は筑紫をふるさとする(た)に満足し、先住者達とよい仲睦なり、日の神を頂点とする祭祀の一致をみて、同胞とまで意識を強めた。かくするうち、飽和に達した筑紫の人々は、銅鑼を率ずる異教の地へ、新天地を求めて東征し、ついに大和に定着した。そして相似のこの地に、あると筑紫の残像を、六世紀まで鮮やかに持っていた。

左右に見るはかす水田は、古くから稲作を基盤とした強大な勢力が成り立ち得たこと、その技術文化はわが國では最も早い時期に伝来し開花したもので、そして女王車跡呼の國に比定されている有力な地方であることなど想い起すに充分な迫力をもっている。

ふと甘木、太刀洗ほどの辺りかと思ふと、と、最近にんもりと小山が見える。突然、飛鳥の風景があたかも一重写しになって現われる。あれは歌併山だ。天の香山具山。耳成山はとてどう。

松島 寛治

いれは何かの接ぎ木に使えよう。この問題は一応おととして、筑紫では西から浮羽に向か、大和は北から飛鳥に対しての軸線を考え、その左、右、奥、手前でも述べた方がより感動的であろうから以下そのようにした。

か、香振山脈は波の山々に見たててもよかろう。たちまち元へとどって耳納の山は生駒の峯々々と、さかんに面白がる。

思つて、二世紀の終わりに、筑紫では比較的平穏に水稲を主とする農耕文化が栄えていた。その安定した営みを求めて武力のすぐれた他の勢力が侵襲し、たちまち筑紫を席巻し、かつ同化した。何

### 筑紫と大和

その車跡呼の城か、早南の海に半島然と女山(山)そまきか迫り出しますがな地(利)を示しているが、今は採石乱掘の傷痕が赤煉瓦で目に痛む。かつての辺りの古墳出土品の立派な目撃したことがあつた。

左手に山辺の道をたどると平城京ここには大和府がある。この符合は、もしや祖先がえりみいた前前意識が働いていたのではないだろうか。それから更に左回りにパーを走つと海、奴の國の海、志賀の島が浮かぶ。連想は滋賀の淡海のうみに至る。更に巡ると西京の大妻、帰化人と舶来の文化、たちまち奈島に連なる、それ「親志倭人伝」にいつ伊都國である。天拝山に続く台地、そこは奈良坂の奥

か、香振山脈は波の山々に見たててもよかろう。たちまち元へとどって耳納の山は生駒の峯々々と、さかんに面白がる。

か、香振山脈は波の山々に見たててもよかろう。たちまち元へとどって耳納の山は生駒の峯々々と、さかんに面白がる。

か、香振山脈は波の山々に見たててもよかろう。たちまち元へとどって耳納の山は生駒の峯々々と、さかんに面白がる。

か、香振山脈は波の山々に見たててもよかろう。たちまち元へとどって耳納の山は生駒の峯々々と、さかんに面白がる。



# 化学

①(旧5Cの思い出と、一年工業化学科クラス担任をおひきうけし)

の先生、事務職員の方々、学生諸君にご迷惑をおかけしましたことか、とても、ここにすべてを記すことはできません。心から申し訳けありませんという以外にはありません。

## 高専教師二年生

### 吉 武 紀 道

昨年四月本校に勤めるようになってからは、一年、楽しくも、辛い一年間でした。とくに旧5年の工業化学科27名のメンバーとの交友はいままでに全く思いもよらぬものであったし、教師と教員のあり方というものをこの時ほど考えさせられたことはありませんでした。始めの半年はただ夢中で過したといふより、思いもよらないこと、忘れられること、出来ぬ11月24日午後、卒業中の事故、これは私自身の化学を仕事とするものとして、また人間としての資格を激しく問われるものでありました。その時以来、私の生き方は全く変えられねばなりません。こちらにまいるまでも、これまでと余り変わらない、研究至上主義(そのように要求されてきたものではありましたが)を捨てざるにありました。しかしそれを一度捨てなければならぬと考えるに至りました。その事故以来、中村君の画報はいつもよほす、いかに多く

の先生、事務職員の方々、学生諸君にご迷惑をおかけしましたことか、とても、ここにすべてを記すことはできません。心から申し訳けありませんという以外にはありません。

の先生、事務職員の方々、学生諸君にご迷惑をおかけしましたことか、とても、ここにすべてを記すことはできません。心から申し訳けありませんという以外にはありません。

# 電気

## レーザー光線について

川野 広市

校を訪れました。目の方がまた必ずしもよくなく、ガラス片がはいったままになっており、後者に見せるために帰ってきたそうです。しかし、それを明るく語って、おもしろい、後輩たちに会社というものを、適切なアドバイスを与えていました。彼の退院後の人間的な成長は、私にははらすもありません。

## 講演 青年期の危機と克服

九州大学助教授 安藤 延男

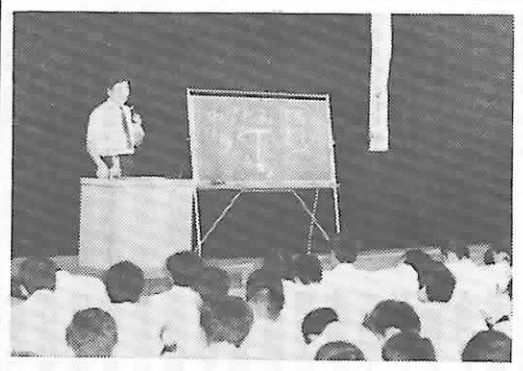
御父兄や一般の方達にも何かと参考になるのではなからうか、安藤先生の講演を拝聴しながら、そう思いました。おもしろい、制機に富んだ講演でもありました。といふわけで多くの方に読んでいただきたいという意図を持って、以下の要旨をまとめてみました。意あつて力不足ですが。

先程の校長先生のお話にもありましたように、悩みというのは何時の時代にもあり、年をとりましたが、また私自身にもかなり悩みがあるわけでありませう。

三百位の項目があるわけですが、それをみますと例えれば自分は時々心臓がどきどきして息が苦しくなるあるいは眼がかすみ、あるいは夜眠が覚めぬ、すうり眠れない、あるいはおしこをすする時どつち痛い、そのついでにやほりの悩みです。それから一寸汚ない話ですが、人の中に居ることもガスが出せうだといふ人が居る(笑)。

そのついでにやほりの悩みです。それから一寸汚ない話ですが、人の中に居ることもガスが出せうだといふ人が居る(笑)。

か)など云いますが、どんなことか聞いてみますと「朝は嬉しく夕方方は悲しくなるのです」といふような答えが返ってくる。朝と夜の考えや感情が分裂しているから分裂症だ、だといふのですが、そんなものは分裂症でもなんでもありません。私なども朝天気の良いと大に張り切りますが、雨が降ると、さういふのが当り前なことです。



安藤先生は昨年迄、九州大学の保健管理センター精神衛生部門の講師であり、現在は教養学部で心理学を担当され同時にステューデント・ガイダンス・サービスの仕事をなさる。

私の学校の学生が入学する際に、どういふ点について悩んでくるかといふような質問の紙を配って書いてもらいます。大体九九・九の位出して、くれませう。

女の人でしたら、例えば太りすぎ。私の所に女子学生が訪ねて来てよく太りすぎているという悩みを聞きながら、「ここが太っているんですか」とたずねると「足が大きい」と云う。見せてもらうと、余り大きな足ではないのですが、本人は大きな足と悩んでいるのです。かと思つて自分はやせすぎと思つて悩んでいる。

そのついでにやほりの悩みです。それから一寸汚ない話ですが、人の中に居ることもガスが出せうだといふ人が居る(笑)。

先程、新入生に質問の紙を配つて悩みを調査してみようといふ話をしましたが、大学に入ってから分裂病になった人、あるいはすでにその病にかかっている人達は悩みがゼロか極端に少ないのです。これは大変面白いことだと思ひます。



がない、これはノイローゼの萌しであることがあるのだが、この問題は説明が中途半端になる

現在のようには排気ガスが充満している山積している時代の中で悩みが全然ないというの

まあそういう意味で適度に悩みがあるというのが健康なはずね。これは今日皆さんに覚えて

次に進みましょう。青年期を三つに分けて中学、高校、大学段階を

この青年期の渦中に皆さんはあられるわけで、青年期とは何ぞやと

りますね。人と付合う時に何でもすけすけと、悪口を言われても

生でいちは内気になるのが皆皆さんの時期なのです。そしてこの時

男の三十一、四十代といいますが、人生のうち花ざかりの時期とも

で、それから一人々々、内向外向の個人差はありますが皆さんの一

この青年期の渦中に皆さんはあられるわけで、青年期とは何ぞやと

こんな話を聞いて俺も自慰せねばならぬのだからかなと、そんな

プリントの自我感情の高まりというの、自分には「俺は」と

「あいつは反抗的だ」と言われると何かかわるような感じがして

次に青年期の特徴として自分というものを外に主張し、自分の考

この青年期の渦中に皆さんはあられるわけで、青年期とは何ぞやと

具合この時期は突然に自分というものが大急ぎで、一歩始める時

「あいつは反抗的だ」と言われると何かかわるような感じがして

次に青年期の特徴として自分というものを外に主張し、自分の考

この青年期の渦中に皆さんはあられるわけで、青年期とは何ぞやと

この青年期の渦中に皆さんはあられるわけで、青年期とは何ぞやと

吊しあげられることがありますが年をとれた校長が青年期のもの

「あいつは反抗的だ」と言われると何かかわるような感じがして

次に青年期の特徴として自分というものを外に主張し、自分の考

この青年期の渦中に皆さんはあられるわけで、青年期とは何ぞやと

この青年期の渦中に皆さんはあられるわけで、青年期とは何ぞやと

例えはイソップの寓話にあるところもよく似ています。大人でも

「あいつは反抗的だ」と言われると何かかわるような感じがして

次に青年期の特徴として自分というものを外に主張し、自分の考

この青年期の渦中に皆さんはあられるわけで、青年期とは何ぞやと

この青年期の渦中に皆さんはあられるわけで、青年期とは何ぞやと

「理想に走る」というのは私が年を喰っているからさう云うのであって、青年は理想に燃えな

試験を例にとれば、六十点とればはいやと思ってしまう人もお

青年期はどのような問題をかかえているか。これはいろいろな角

から「心の奥を語り合える友達がいなくて」といふ悩みも大きい。

最大の悩みは「勉強がどうも思わしくない」というものです。つまり「自分の能力に行き詰まりを

次に自分の性格が気に入らないという悩み。この年代は自分という

「性格は直るんではなか」といふ質問をよく受けます。「性格は

これはかなりに遺伝的なものと関係がありますから、余り直らない

の、素養といいたまうか、これはなかなか変わらない。性格の

他方ではその裏返しに、自分をうめぼれてしまうという人も

それから身体のことが大変悩みだといふこともあります。身長が

皆さんも例えは顔かたちにかんして、顔が自分を見てどうも気が

になるでしょう。そんな気にならなからたむろおかしなのです

中学、高校生の頃は週刊誌に出て来る女優さんなどが美人であ

次に健康のことですが、病気の人は仕方がありません。ところが

私も大学入試の前に一瞬間に閃いたのは、今宵腸になって、週刊

試験に落ちて他人に対して、いやむろろ自分に對して病気になる

今日、日本に性に関する記事が氾濫していますがこれ種々の問

性的問題をどう考えるか、ということと同時に異性をどう考

多分皆さんも死というのを考えたいことがあるでしょう。夜の

でむろろ死の恐怖をそれ程考えないで済む時代かもしれ

死という問題は、年をとってから、あるいは死ぬかもしれない

プリントに危機に対する反応とあります。いちばんいいのは危機

日本でも非常に増えていく傾向が



あります。

危機に出席して人間が行なうもの行動は、す。かり自分のうたがもてしまつたといふものです。逃避の場合は一応苦しみ面に悩んだ挙句、酒を飲んだり、ワツと騒いで発散してしまつておきます。この場合は「感じない」というか頭の中から一切追放してしまつたのです。これが自己防衛云々される仕方です。

対応の次の理は攻撃です。うまくいかないのを他人のせいにする親の遺伝のせいにする、例えば友人ができない、あるいは他強が得意なのは親がわるいからだ、母親を責めたりするものが時々あります。もう少しスケールが大きくなると今の資本主義体制よろしくないのだと云つてヘルメツトをかぶるワツとやる。本当は自分が怠けているのにすぎないので、その云つては男が立たないから人のせいにして、悪口を云つてワツとやるわけです。これは本当の解決にはならないでしょう。

それは逆に自分自身を攻撃するといふのもあります。電信柱が高いのもみな自分がわるいのだといふたぐいで、本当は自分がわるいこともなく責任もないのに、みな自分がダメ人間だからこんな結果になるのだと自分のせいにする。学校教師の子供の母親に「こいつうかがいがあるかあります、みなアタシがわるい、と云つ

よつたアンタがわるいんだと私は怒鳴るのだから、慰めるのだから

このよつた母親のもとにノイロ一ゼII神経症の子供ができてくる場合がありますが、神経症は危機を乗り越えることができない時、好ましくはないが、その代償物として神経症になっているのですから意味があるわけで、それによって自分をまわり生きて行くことができるのです。

以上幾つか、危機に対する反応の仕方を挙げましたが、最も正しい正常な反応は危機を克服すること、即ちそれにより癒されるのではなく危機を支配下に置き、それを通過して一段高い所に成長することであるといふことができます。

十三

時間も残り少なくなりましたので、学生の訴える悩みについては簡潔書的に簡単に述べることになります。

(いまの専攻をつづける自信がない。時々自信を失つこともありますが、勉強への意欲がなくなつてしまつた。授業がつまらない、と云う人がいますが自信がないから云つたのか、ありすぎるためなのか、言葉の充かただけではわかりません。

(記号力、集中力が鈍。た) 神経質な人、完全主義者に多い。時には神経症の人。一人一人一人位の場合で内分泌異常またはパセド

氏病の場合があるが、大部分は考え過ぎか理想が高いためでしょう

(スランプがついていない。この悩みが多い。皆さんはそれぞれ知恵を働かして克服してほしい。勉強が続けられなくなつたら一寸休むとか、時と場合に応じて徹底的に休むとか工夫して下さい。ある方法が誰にも適用するとは限りません。(内気な人などで自由にふるまえない。これには先程触れました。

(打明けて話せる友人がほしい) 友誼論にも係わりがありますが、自分だけのためにいい友人を期待して求めようとする人には、友人は見付からないものです。自分の方からいい友人、いい聞き手になること、自分の方から何でも打ちあけること、そうすれば自分もまたいい聞き手友人と与えられるでしょう。

(わるい病気になるのではないかと不安だ。) 親せきや家族に例えは精神病の人がいる場合などには大変気になるものですが、余り気にする必要はありません。もし気になるのなら生半可な本など読まず専門家を訪ねることです。早ければ病んで直ります。

(体にか等感をおぼえている。すでに触れましたので省略します) (試験のたびに、頭痛がひどくなる) 頭痛、下痢、眼がかすむ、食欲減退等の症状を訴える人がいますが、これは試験の緊張から逃れ

たいという気持ちが働いている場合がある。その状態が余りひどい時には本人の不安心配を取り除き気の弱さをなくするために専門家が適当な人に相談してみるのがよいでしょう。また普段の生活で(体がだるく、気が充塞しない)と訴える人もいます。

(すぐに顔が赤くなるので引こみがちだ。)(真赤な太陽のような顔をして頑張っています)と私のところへ、数年前にや。来て今はセールスマンをしている人から先日葉書ももらいましたが、この悩みを抱えている人は実は、顔が赤くなることも赤くなるのじやないかという不安心配が先立っている場合が多いのです。自分は血色がいいんだと、大いに赤くなりながら頑張ればいいので

(勉強がうまくゆかない。)(勉強したい。)(深刻な理田の場合もありますが「何んとなく遠くへ行きたい」という漠然とした理由の場合も多い。安全で居心地のいい家に居ながらその束縛を断ちたい家を買きたい、試したいという自立の欲求を感じた時と外出を考へることがあるのです。尤も、「精神的」な外出の場合が多いのですが。

(自由な時間がない。)(現代ではむしろ何をしないかを考へた方がいいと思います。絶対必要なことだけをやり、あとは自分の大事な

問題を静かに考えることにしたいものです。「レジャー(レジャー)で忙しくてたまらぬ」などという最近の流行を追うのは愚の骨頂。

(生きる意味が分らずと死にたくなる。)(十八才前後の学生のうち五〇―六〇%は死を思つたことがあると答えています。ゲイテは「人生には分らないことがたくさんある。生きていけば分ってくるだろう」と云っています。生きる意味を求めて生きていくという事です。

最後に、皆さんが悩んでいる問題は自分でつまらないと思つても自分から押しつけません。けれども自分が本当に苦しいなら、これは解決しなければならぬ大層な問題です。ですから自分が本当に悩んでどうにもならないという苦しい状態になったら適当な人に友人で結構です。一援助を求めれば必要がありま

す、先ず話すこと、聞いてもらうことが大事です。その点、親は一残念ながら一自分の子供に密着しすぎていますから余り適当ではありません。一「一かりせい。意気曲がないぞ」などと怒鳴られて、親は励ましたつもりですが、子供はさらにしまつてしまつたといふ具合です。こういう時バカ話ができ、秘密をわかち合える友人が居ればありがたいわけですが、孤立している人

は苦しみの向け場がないので苦し

い。その意味で友人は必要です。それから先生は皆さんの親選りには距離をおいている。親程には頭に来ない話も聞けるのです。人生の先輩でもありますから、信用して話を打ちあけて下さい。「秘密を守って下さい」と頼んで話を聞いてもらうのです。私のように専門にノイロゼの治療などをしている者には、絶対に秘密をまもるといふことが前提になっています。ですから人も云えないことを打ちあけられるわけですから皆さんの先生も同様に秘密をまもって下さるのです。

そしてなるべく早く相談することが大事です。悩みを克服する、あるいは危機を克服する主人公はやはりあなた自身です。人が解決してくれる問題ではありません。自分が主人公になって、例えばこれは誰々に相談しよう、自分で考へて、わらびれることなく行動に移っていただきたいと思ひます。

相談の相手としては、友人や先生のほかに小学校や中学校時代の先生方、あるいは親類のおおきさんとか、兄弟などもよろしいでしょう。それでも不満足、不十分だと思つたら精神科のお医者さんに電話することもできます。電話料が高つくつかもしませんが、私あてに直接電話を下さつて結構です。ではこれで話を終ります(拍手)



機械

「この若い連中の中に、年の頃は十七歳ばかり、中背で、がっちりした体格、髪はブロンド、病的な蒼白い顔をした若者がおりました。この若者が、フョードル・ミハイロヴィチ・ドストエフスキーでした。」(テ・ウエー・グリゴロフの回想記)

これが灰色の都市ベテラルブルグへ出て来た時のドストエフスキーの外見印象である。彼の生きた十九世紀には現代的新状況がすでに芽を出しはじめ、西欧の合理主義がロシアに根のこたくせまっていた。そしてこの状況の中で人間のたろ運命とこの救いが彼の生涯を通じてのテーマであった。

ドストエフスキー

家庭での教育を母親から受けたテキストには聖書に関する読物も選ばれ、特にヨブ記に大きな感銘を受けていたようである。五十三才頃に妻に出した手紙の中でこう書いている。

「……ヨブ記を読んだが、この書はわたしに病的な感銘をよび起すのだ。本を棄てて、ほとんど泣かないばかりに一時はばかり部屋の中を歩きまわった。……」

「……もつと人間はどこへ行って人間です。職務の中でさえ僕も四年間の間にはいつに人間を見分けるようになりました。兄さんとはほんとうにできないかも知れませんがその中に深刻な強い立派な性格の者がいます。そして粗野な表皮の下に黄金を産卵するのほ何という楽しいことでしょう。しかも、それが一人一人二人でなく幾人かいたのです。中には尊敬せずにはいられない者もいるし、また中には断然立派な人間がいます。」

「……もつと人間はどこへ行って人間です。職務の中でさえ僕も四年間の間にはいつに人間を見分けるようになりました。兄さんとはほんとうにできないかも知れませんがその中に深刻な強い立派な性格の者がいます。そして粗野な表皮の下に黄金を産卵するのほ何という楽しいことでしょう。しかも、それが一人一人二人でなく幾人かいたのです。中には尊敬せずにはいられない者もいるし、また中には断然立派な人間がいます。」

「……もつと人間はどこへ行って人間です。職務の中でさえ僕も四年間の間にはいつに人間を見分けるようになりました。兄さんとはほんとうにできないかも知れませんがその中に深刻な強い立派な性格の者がいます。そして粗野な表皮の下に黄金を産卵するのほ何という楽しいことでしょう。しかも、それが一人一人二人でなく幾人かいたのです。中には尊敬せずにはいられない者もいるし、また中には断然立派な人間がいます。」

宮川英明

「貧しき人々や「虐げられた人々」のなかに現われるところの都会の片角で生きて人間に對する深い同情と人格的愛情はこの頃に源を流していると思ふ。

「罪と罰」でいえばラスコリニコフの犯罪論的な論理からの内面的転換の構造である。つまりラスコリニコフからソニーヤに至る過程である。イワンとアリョーシャの関係も同じものと見てよいと思ふ。彼にシベリア流刑がなか

たかば想像を絶するほどである。流刑生活の中で彼は凶人の間にロシア人のほんとうの姿、心の奥底を自らの体験をもつて知った。流刑の地へ人間を抛見したのである。兄に宛てた手紙の中でこう書いている。

「……もつと人間はどこへ行って人間です。職務の中でさえ僕も四年間の間にはいつに人間を見分けるようになりました。兄さんとはほんとうにできないかも知れませんがその中に深刻な強い立派な性格の者がいます。そして粗野な表皮の下に黄金を産卵するのほ何という楽しいことでしょう。しかも、それが一人一人二人でなく幾人かいたのです。中には尊敬せずにはいられない者もいるし、また中には断然立派な人間がいます。」

近況報告

興和紡績 後藤誠一 M(昭44・3)

夏場に入り、最近とみに肥つてきた身体を憂きでても余り気味の

毎日です。五年生の諸君もほぼ全員が就職内定したそうでおめでたう。これからいよいよ本格的に本研に取組み、最後の学生生活を送るわけですね。頑張ってください。私も社会人三年目を迎え、ますます厚がまし、いよいよやがて退職しなくなりました。交際費の勤務の他、バレーボール部の監督、はては近所のママさんバレーのコーチまでやらされる始末。また別にやらされている仕事もあり、日曜日

も休めないような状態ですが、六月に入らたら日曜で真・黒・体重は75キロと少々太りすぎですが、まずは快調といつたところ、最近では、女の子たちに、貫録が付つたとか黒山が動くみたいななど冷やかされる状態、暑さも考え合せ、肥ることも愚案物と気が付いた次第です。先日急に下場の方に、名古屋に勤める工君の訪問を受けました。残念ながら私が勤務時間で、一時間半ぐらいしか話せませんでした。が、その時、お互いの会社の状態、将来の見通しや転職した級友たちの話題が出ました。転職した諸君のなかには、流企業と目されている所へ行く人達もありました。理由の詳細はわかりませんが本人の適性が合致しなかったのだらうといふことでした。現代は流動の激しい時代であり、転職自体誹謗されることも恥かしいことでもないと思ひますが、短期間で転職といふのは会社が肌



学生から先生へ

出光石油化学 久保山 明 E(44・3)

日を追って、五年生諸君の社会への進路が決められていることと、三年前の自分達のこととを思い出して、何かしらなつかしき感じがする今日のことです。卒業後、全くの音信不通の状態が続き、またお話を伺うことになること、二年間の社会生活、そして現在の職務を介してごまかす。

職場は出光石油化学の電気係に所属しています。化学工場での電気系から、貴重な職務で、研究・開発、販売という一貫電気メーカーのものは少く、違っているようにも感じます。もちろん各部署の運転、設備建設、増設計画、一母保守管理と内容的には多種あり、現在でも、まだまだ完全に一人立ちとまではいかないのが現状です。しかし、自分なりに努力しているつもりで、増設計画にも参加させてもらいました。建設計画一業者との打ち合せ、工事一試運転という段階も経験したし、発電所の運転も経験して、いまから一歩満足しています。

先日の学校訪問の際、川上先生に話しましたように、46年度新入社員教育

電気

アメリカ便り

松下電器 青田 安功 E(44・3)

五月中旬の日々のほうが暖かく、ときおり初夏を思わせるような日もありますが、まだコートをはおりまわっている人が多いです。

ニューヨークにきては、四月月になるまでです。エンジニアとして、セルスマンとしての仕事はむずかしいなど、つくづく自分の非力にガッカリします。少しでも仕事ができるようになりたいものだと感じています。

近況報告

ブラザー工業 鶴 良夫 M(45・3)

姉な梅雨も予想外に早く終り、学校の上にも青い夏空が広がっている事でしょう。名古屋でも何やら梅雨が明けたとか、その割には今日も大変な雷雨、それでもやはり夏で、連日30度を越える暑さです。入社して一年余り、どうやら仕事にもなれ、毎日欠かさず会社へ通っております。

君と会う事が出来ましたが、彼等も私に劣らず良く働いているとの事で、大変に元気をうけていた。私は現在、事務機設計課という所に居まして、タイプライターの設計をやっております。人間が直接使う機械故、仲々難しい所もありますが、面白いと言えは面白くも思いません。仕事が終れば、大体クラブ活動をやっております。根が軽率なもので、気路に合団のマネージャー等を引き受けたばかりに、大変苦労しています。混声合唱なので、女の子が多く、気の弱い私には、その人達と話をするだけでも大変な仕事で、エネルギーの半分は仕事で費やされてしまつたといつた有様です。

学校の頃のクラブ活動も楽しかったと思いますが、現在は合唱のほうで手一杯です。ところで先日帰省した際、岡見の後輩のプラスバンドの練習振りでは大分安心の様です。基礎練習を良くやっているの、大変に良い事だと思えます。本末顛倒かも知れませんが、何事もある程度の余裕と自信が無くては、仲々安心して基礎作りには時間を費す事は出来ないものらしいから、音楽は素晴らしいものです。皆さんの今後の活躍を祈ります。

育担当として、一応席を人事課に置いてあります。三月月間の新入社員教育の為、2月よりの計画、そして4月からの実行と、なかなか忙しい毎日を送っています。各係から1名ずつ選出された担当者15名で、百五十名の新入社員教育に当たっています。早期一人立ちを大きな目標に、人間的な結び付きの中に、仕事、私生活を通じて教育するのが役目です。従来の仕事内容と違い、なれぬ仕事で各種の問題が毎日のように出てきます。さらに、この6月中旬から、電気関係の講義も計画されているのもあって、そちらの準備にも時間を取られる毎日です。多忙の連続であり、少々苦しい毎日ですが、新しい仲間達との出会い、そして結び付きと大変に嬉しい面もあります。彼等一人一人を早く一応一人とする仕事ですから、その実現を夢見ながら毎日働いています。ですから、現在のところ、人達課新入社員教育係兼電気係というが僕の置かれていた職務という事でしようか。

た。一つのことが出る、一つのことになる。このように思っています。それが出来る人間は何をやるにしても全力でやるべきです。一歩一歩進歩を見て頼もしく思いました。これからは大いに百歩を踏み出さして下さい。勉強の方面で頑張るのは、当然のことです。といつて、後輩諸君の頼もしい姿を見た訳ですから、今後はこちらの番。君等の一先輩として恥かしくないよう努力するつもりです。また、訪問する機会があったときは、一緒に汗を流してみたいし、大いに語り合いたいものです。若者同士、何事にも全力を尽くして頑張ってください。皆さん、岡山の方に来るとの機会がありましたら、連絡して下さい。卒業生集めて歓迎しますかも。

この号から全科分をこの欄に、だいたい卒業年次順にまとめることにした。創刊号にも記したが、転勤・住所変更・結婚・二世誕生表彰など個人的なもの、同窓会、同級会などとしてご連絡ください。

同窓消息

同窓消息

同窓消息

次に、先日の学校訪問の際、わざわざの時間でしたが、校内外見学して感じたことは、学校内に活気があるという事です。クラブ活動を二つ例にあげても、備簿以上に盛り上がりがあるように感じました。誰かが素晴らしい青春の一時代を過ごしているように感じました。

この号から全科分をこの欄に、だいたい卒業年次順にまとめることにした。創刊号にも記したが、転勤・住所変更・結婚・二世誕生表彰など個人的なもの、同窓会、同級会などとしてご連絡ください。

同窓消息

同窓消息

同窓消息

同窓消息

工場見学

工場見学

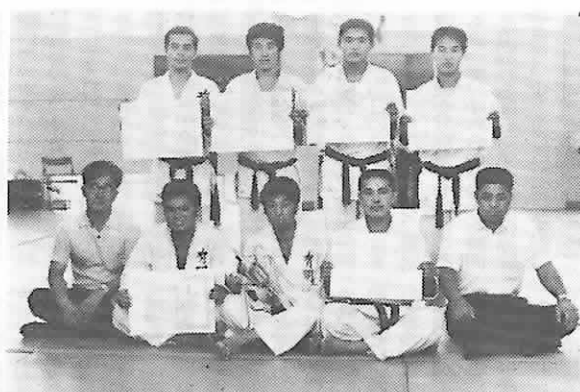
### 優勝 柔道 (団体、個人共)

### バスケット惜しくも準優勝

第八回九州地区高専体育大会は七月二十一日・二日の両日、久留米高専ほか久留米市内の各会場に分れて、八種目にわたって開催された。

を繰り展げた。

その結果、八月十九、二十日に大阪高専で開かれる全国大会には柔道を始め、陸上の田坂投げ、剣道の個人戦に出場権を得た。全国大会での選手諸君の活躍を期待するとともに、阪神地区の先輩諸氏の応援と激励を期待する。以下簡単に地区大会の競技結果を報告して皆様の日頃の応援の御礼としたい。



- ▽陸上 二位 森尾
- ▽野球 一位 森尾
- ▽バレーボール 久留米2-0有明
- ▽卓球 北九州2-1有明
- ▽柔道 都城4-1有明
- ▽剣道 有明4-1鹿見島
- 久留米3-1有明
- 個人準優勝 山口
- 有明3-0鹿見島
- 有明3-0北九州
- 法勝戦 有明3-1大分
- 個人戦
- 軽量級 深耕
- 優勝 黒田
- 準優勝 川村
- 優勝 木下
- 重量級 重野
- 優勝 重野
- 四位 近藤

### 第7回九州地区大会 7・21・22 久留米高専

### RESULTS

今年の第四回九州地区高専英語弁論大会は、八月二十日、大校で開かれる。去年は北九州高専で開かれ、本校からはE.S.森さんが風采を大加のため、私一人出場した。弁論大会と言っても、出席者千政名、審判員七名、聴衆五十余名と比較的熱気なものであったが、会場は出場者の熱気が溢っていた。私は練習不足のため残念ながら不本意な結果に終わった。

### 写真

新入部員を入れて、現在の部員数は17人、第一回校内写真展もまず成功し、目下高専祭に向けて活動にはげんでいます。部員のほとんどを三年生でしめしているため、部の将来には期待がもたれますが、今年度新一年生を大部させることに失敗し、新鮮さに欠け、またこれまでの写真展をふり返ってみても向上しているとは言えません。これらの点を今後の努力で解消していきたい、今年の高専祭では実行委員会の「高専祭のマンネリ化を脱して、新鮮味のあるものにしてゆこう」というアピールに我が部も同調し、新しい企画やアイデアを部員みんなで考え行ってみようと思っています。

### 美術

私達は、よく人の手足を見て、貧弱だと思ったりします。これは恐らく私達が自分自身の手足を見て、その美判断の基準としているからだと思えます。この様に美というものは、人によって千差万別のもので、決して特定のものではありません。こういう意味から、ひところ、叫ばれた個性創造というのが、私達美術部のねらいです。新鮮な下級生の入部を期待しています。

### 高専祭実行委より

10月30日(土)・31日(日)に第六回高専祭を行います。展示などに幾つか新しい試みをおもって準備中ですが、その一つに漫画家、永島徳一氏の講演があります。また「卒業生を囲む会」を企画していますので、卒業生で出席できる方は九月初旬まで御一報下されれば幸いです。なお、最近の工学関係の話題について何か資料がありましたら、これらと一緒にお寄せ下さい。

### 編集後記

本通信は三年目、九号を迎えた。毎日も遅れずに続けられたことをいささか自慢する。とともに、マンネリ化を厳に自戒すべきときである。校内外の空気を、高専期よりつぎの段階に入らなことを思わせる。図書館センターの打ち上げ、第一・充実期への提言であらねばならぬ。新構想(高専)大学の曙光もさしてきたいま、本誌が閣下照顧の一助たらんことを。